



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月13日 東

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	179,555	15.3	5,940	2.3	6,205	2.2	3,277	△5.1
27年2月期第3四半期	155,761	26.5	5,807	57.1	6,074	50.2	3,452	61.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 4,016百万円(△29.1%) 27年2月期第3四半期 5,665百万円(111.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	117.06	106.65
27年2月期第3四半期	123.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	115,267	52,831	41.8
27年2月期	98,755	49,768	46.0

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 48,144百万円 27年2月期 45,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
28年2月期	—	16.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.4	8,500	3.3	8,800	2.3	5,000	15.1	178.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期3Q	32,267,721株	27年2月期	32,267,721株
28年2月期3Q	4,265,690株	27年2月期	4,265,521株
28年2月期3Q	28,002,115株	27年2月期3Q	28,002,376株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、消費者マインドは上向かないものの、企業業績は堅調に推移し、設備投資も緩やかながら持ち直しの兆しが見えております。また、一時期落ち込んだ株価も徐々に回復しつつあります。しかしながら、当食肉業界におきましては、世界的な食肉需要の増加による原料価格の高騰や円安の進行などのコストアップ要因により利益率の低下に悩まされ、全般的に厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉の生産から小売・外食までの食肉事業の垂直統合を推進しており、それら事業間の関係を緊密にすることにより、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、食肉価格が高騰を続ける中、得意先のニーズに答え、常に先を見越した営業活動により、売上の確保に努めました。また、昨年5月に北海道で稼働を始めた日高食肉センターを中心に豚肉事業の拡大を図り、さらにグループ企業間での協力による事業開発も引き続き進めて参りました。食肉加工品に関しては、秋冬シーズンの到来にあわせて、定番の「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズをはじめ「お手軽スタミナ食堂」シリーズ、「レンジで簡単調理」シリーズの拡販に努めました。食肉等の小売及び外食事業において、小売部門では従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進め、外食部門では同業他社との競争を促し、ステーキレストランチェーン事業の更なる成長を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,795億5千5百万円（前年同四半期比15.3%増）、営業利益59億4千万円（前年同四半期比2.3%増）、経常利益62億5百万円（前年同四半期比2.2%増）、四半期純利益32億7千7百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,554億1千5百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益は52億2千4百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は166億1千4百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は9億6千9百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は62億9千9百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益は4億3千6百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

④その他

売上高は12億2千5百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は1億1千5百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて165億1千2百万円増加し、1,152億6千7百万円となりました。これは主に、新株予約権付社債の発行による現金及び預金の増加、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて134億4千9百万円増加し、624億3千5百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び新株予約権付社債の発行によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて30億6千2百万円増加し、528億3千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期の業績予想につきましては、平成27年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円、退職給付に係る負債が209百万円増加し、利益剰余金が41百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、株式会社フードリエ及びその子会社は、12月31日に実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を2月末日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年11月30日までの11か月間を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,120	26,051
受取手形及び売掛金	24,355	25,821
商品及び製品	9,772	13,891
仕掛品	452	628
原材料及び貯蔵品	3,157	3,579
その他	1,898	2,958
貸倒引当金	△256	△281
流動資産合計	58,501	72,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,807	30,656
減価償却累計額	△18,931	△19,302
建物及び構築物（純額）	8,875	11,354
土地	10,694	10,763
その他	24,823	25,049
減価償却累計額	△15,970	△16,505
その他（純額）	8,852	8,543
減損損失累計額	△1,276	△1,264
有形固定資産合計	27,145	29,397
無形固定資産		
のれん	20	11
その他	307	340
無形固定資産合計	327	352
投資その他の資産		
投資有価証券	10,012	10,270
退職給付に係る資産	—	315
その他	3,034	2,523
貸倒引当金	△267	△241
投資その他の資産合計	12,780	12,867
固定資産合計	40,253	42,617
資産合計	98,755	115,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,893	21,559
短期借入金	3,790	3,849
未払法人税等	1,851	972
賞与引当金	678	1,244
その他	7,597	6,919
流動負債合計	31,810	34,544
固定負債		
社債	40	9,019
長期借入金	11,766	13,447
役員退職慰労引当金	178	203
退職給付に係る負債	1,917	2,053
その他	3,273	3,166
固定負債合計	17,175	27,890
負債合計	48,986	62,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	28,155	30,557
自己株式	△2,991	△2,991
株主資本合計	41,414	43,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,276	3,667
繰延ヘッジ損益	32	10
為替換算調整勘定	712	654
退職給付に係る調整累計額	△43	△4
その他の包括利益累計額合計	3,978	4,328
少数株主持分	4,374	4,686
純資産合計	49,768	52,831
負債純資産合計	98,755	115,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	155,761	179,555
売上原価	129,483	151,145
売上総利益	26,278	28,410
販売費及び一般管理費	20,470	22,470
営業利益	5,807	5,940
営業外収益		
受取利息	27	28
受取家賃	66	98
受取配当金	103	125
有価証券売却益	72	122
その他	310	230
営業外収益合計	581	604
営業外費用		
支払利息	132	137
為替差損	—	95
賃貸原価	9	30
その他	172	76
営業外費用合計	314	339
経常利益	6,074	6,205
特別利益		
固定資産売却益	13	10
投資有価証券売却益	51	2
その他	4	4
特別利益合計	70	17
特別損失		
固定資産処分損	65	63
減損損失	6	43
店舗閉鎖損失	10	32
その他	7	1
特別損失合計	89	141
税金等調整前四半期純利益	6,055	6,081
法人税等	2,361	2,440
少数株主損益調整前四半期純利益	3,693	3,640
少数株主利益	240	363
四半期純利益	3,452	3,277

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,693	3,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,821	398
繰延ヘッジ損益	3	△22
為替換算調整勘定	143	△35
退職給付に係る調整額	—	42
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△7
その他の包括利益合計	1,971	375
四半期包括利益	5,665	4,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,415	3,627
少数株主に係る四半期包括利益	249	389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	133,222	15,602	5,822	154,647	1,113	155,761	—	155,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,474	41	176	5,691	114	5,806	△5,806	—
計	138,696	15,644	5,999	160,339	1,228	161,568	△5,806	155,761
セグメント利益	5,234	899	367	6,500	98	6,598	△791	5,807

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△791百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△755百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	155,415	16,614	6,299	178,330	1,225	179,555	—	179,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,773	38	232	6,044	95	6,139	△6,139	—
計	161,188	16,653	6,532	184,374	1,320	185,695	△6,139	179,555
セグメント利益	5,224	969	436	6,630	115	6,745	△805	5,940

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△805百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△780百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。